

広袴祭り

広袴町内会
会報第52号

発行日
令和2年10月1日

発行責任者
広袴町内会
石倉 秋

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にす町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

調整池周辺草刈り活動

七月二十六日(日)、長梅雨の激しい雨が降る早朝より、広袴調整池周辺の草刈り活動はまずエンジン付き芝刈り機を携えた有志7名による刈り取り作業から始まりました。四方に分かれて手早く刈り込んでいく様子は圧巻、機械化作業の底力を感じました。続いて行われる予定の刈り取った草をかき集めて袋詰めする作業は、連日の長雨と熱中症の恐れもある蒸し暑さを考慮して、翌週八月二日(日)へと延期になりました。



明けて翌週は梅雨も明け晴天に恵まれ、広袴会館での三密に配慮した受付を経て参加者各位による袋詰め作業も手際よく進行し、きれいになった調整池周辺を眺めて満足げな皆さまでした。参加者の皆様、本当にご苦労様でした。(十二組 足立)

新型コロナウイルスの影響で今年は夏祭りが中止になってしまいました。太鼓の音や屋台の匂いもなく季節が変わっていきのは寂しいですね。そこで文化部さんとも相談の上、気分だけでも夏祭りに関わる記事を掲載しました。(お祭りの写真は過去のもので)

盆踊り焼き鳥スタッフの今昔

平成十五年にこの地へ転入して以来、毎年参加してきた広袴町内会最大のイベントが今夏は中止という報に今年もそろそろ夏の準備に忙しくなる頃だと思いを寄せていただけに、肩透かしを食わされた思いでした。

現役引退で未知の地へ移ってきた当時の私としては、まずは近隣の方々とのコミュニケーションづくりからと、盆踊りの焼きそば店に混ざっていただき、汗をかけたものでした。長きにわたり会社勤めだった人間が、この時得た経験は、何とも言えないもので、この地に根をおろし、終の棲家とするためにも、またとない機会を得た思いでした。

二年目は、盆踊り最大の店舗「焼き鳥店」へコンパート。店舗最大ブースに弟子入り。一からノウハウを叩き込まれました。そして、年数を重ねることに販売する串の数は増え、ついに三千本を用意するまでに。

当然スタッフ数もそれに合わせて増えました。しかし、すべてが順調に推移したわけではなく、祭りたけなわ時に集中雷雨に見舞われ、ビシヨ濡れになりながら売残り処分にてんてこ舞い。しかし、それがかえって、スタッフ間の絆をそれまで以上に堅いものにもしたようです。

焼き鳥の品質を高めるため、国産の高品質のものとし、販売金額も据え置きにするなど、スタッフはイベント終了後も会議を重ねました。試食会の名を借りたパーティや新規販売店企画会議と称した飲み会が、既にスタッフ間ではお決まりのコースとしてすっかりできていたものです。その結果、ソフトドリンクや生ビールをはじめ「じゃがバター」の出店もできるようになりました。これらは、町内会委員会と焼き鳥店スタッフの協力のもと始まりました。

前述の「焼き鳥店スタッフ」からいつとはなく、集まりをかけるのに、いつも「焼き鳥スタッフ」と呼ぶのもいかなるものですかねとの声があり、アンケートを実施した結果、「広袴ゆかいな仲間たち」に決定。夏のイベント終了後の反省会(スタッフ独自の飲み会)をはじめ、既に二回のボーリング大会、恒例の忘年会も毎年行い、親交を深めています。広袴町内会のお祭りは、鶴川団地のそれと同じ時期に開催されますが、子供たちが大人になったときに、広袴の夏祭りが真っ先に思い出されるよう、よりよいアイデア・気づ



いた点があれば、町内会の会員として提案という形で協力もしていければと考えています。そしてなにより来年以降はより一層活気あるお祭りが開催されることを切望いたします。

(十二組 山川様寄稿)

お祭りを支える女性スタッフ

お祭りの準備は大変です。それでも、お祭り間近になると、胸騒ぎが始まるお祭り大好きな女性スタッフの皆さんがいらしています。お祭りが中止になった今回、そんな皆さんに広袴のお祭りについてお話を伺いました。

最初は2名からスタートした女性スタッフも、今では15名近くになりました。二十代から七十代まで幅広いメンバー構成で、焼き鳥・じゃがバター・生ビールの露店を支えています。

準備は、焼き鳥の買い出し・解凍から始まり、タレの用意、じゃがいも蒸かし、注文票の用意、そして当日の販売、売上げの計算など、やることはたくさんです。聞けば、そこには見事なチームワークが発揮されているんです。

ある女性スタッフさんによれば、次のという意識がスタッフの中で自然と働いていると感じているそうです。

一、皆さんに「楽」しんで欲しい！

二、スタッフ同士が「楽」に仕事できるようにしよう！

三、自分たちも「楽」しんじやおう！

粒となって流れる汗にお化粧が取れそうになって、この『3楽』がスタッフを活気づけ、チームワー

クが発揮されているようです。この3楽とチームワークが形になったものが、お揃いの「紅の頭巾」です。そのトレードマークである頭巾をつけた女性スタッフの皆さん、かっこいいです！

そして、毎年、焼き鳥の提供の仕方など細かな作業も色々な工夫を重ねてきています。「こどもの学校の役員を務めた経験を町内会イベントに活かせれば」と協力されている方もいらしています。なるほど、それはスタッフ全員が効率よく作業が行えるわけです。

また、焼き鳥店に加え、じゃがバター新規出店も、町内会スタッフと女性スタッフ他の協力によって叶いました。ここにも色々な経験が生かされていると思います。

準備から翌日の後片付けまで大活躍の女性スタッフの皆さんですが、煙にまみれながら焼き鳥を焼く男性陣のために塩飴や冷タオルなど熱中症対策などの心遣いも素晴らしく、男性陣は女性陣に感謝しっぱなしです。

ただ黙々と作業するだけではなく、そこはさすが女性陣、子供の話や地域の話題に花を咲かせることも楽しみの一つだそうです。真夏の炎天下でも笑い声が絶えず、皆さん、本当に楽しそうです。



お祭りを含めた町内会のイベントは委員や班長だけでは手が回りませ

ん。別の女性スタッフによれば「ボランティアの大切さを身に染みて感じた」そうです。また『地域の方々の顔を知る』ことは、こ



の町にピンチが訪れたとしてもポジティブに乗り越えられると思います」と話されています。

なるほど！たかが手伝い、されど手伝い。地域活性化や助け合いに繋がります。そうはいっても、

誰もが易々とお手伝

いに参加できるわけではありません。家庭があり、仕事があり、学校行事があり。女性スタッフもできる範囲で無理なくお手伝いしていただくことをモットーにしています。ですから、協力したいけど、「少しだけなら」という方、ウエルカムです！

今回女性スタッフの皆さんから『3楽』地域の顔』他にもたくさんのお話を聞くことで、町内会活動の一番大事なことで、そして困難な状況を乗り越えるために皆で協力し合うことの大切さを教えてもらった気がします。

なんととっても夏祭りは町内最大のイベントです。このイベントが、町内の皆さん・子供たちの大きな思い出と親睦のきっかけになるよう、町内会スタッフや女性スタッフの皆さんは、早くも大作戦を練っていることと思います。

次の夏祭りが何事もなく盛大に開催されることを切に願います。(六組 岩崎)

「お祭り」子ども達の思い

子ども会さんにご協力いただき、お祭り中止を受けた地元の子供たちの声を集めてみました。

- 夏祭りを楽しみにしていたから中止で残念です。来年は綿あめがあったらうれしいです。(小5男子)
- 高校生になってから夏祭りで地元の友達と会うのが恒例になっていたので残念です。(大学生女)
- 玉川大学の太鼓サークルの若くパワーみなぎる演奏に毎年魅了されています。大学生と地域のつながり、続けていってほしいです。(中2女子の母)
- やきそば、にんじんなど野菜たくさん入っていておいしいです。今年もラムネと一緒に食べたかった！(小5女子)
- 盆踊りの練習が楽しかったです。(中2女子)
- 今年五年生だからソーラン節を踊りたかった！(小5女子)
- 来年はくじ引きひきまくりたい！(小3女子)
- 来年は絶対おまつり行きたいです。(年長男子)
- 地元の温かい雰囲気のおまつりが大好きです！また安心して楽しめる日がきますように。(3児の母)
- 来年の夏祭り、射的があったら嬉しいです(小学)



(生)

● 町内会だからこそ、程よい賑わいと居心地の良さがある夏祭り。(小5の母)

● お祭りのおいしいものは、フランクフルトとじゃがバター。フランクフルトは、自分のうちで焼いて食べるより断然おいしい！じゃがバターは、どの味もおいしい！じゃがいもがおいしいのだと思う(小5女子)

● 某TV番組みたいに、盆踊りの櫓でこっそり踊る三代目JSBをみてときめきたい！(年増の乙女)

● やきとりがおいしい！わたあめがあるといいな！(小学生女子)

● 小学1年生くらいるとき、朝学校に行くときに交差点にいつもいるおじさんが、お祭りの時に声をかけてくれてちよつとうれしかった思い出があります。(中学生男子)

● ビール片手に焼き鳥を焼いてくれるみなさんを見て、こちらまで楽しくなります。焼きすぎ注意でお願いします(笑)(小学生の母)

子ども会の皆さん、お祭りへの思いがとても伝わるコメントをいただきありがとうございます。皆さんの声はきつと誰かに届いています。

来年こそ、皆でお祭りを楽しみたいですね！

子ども会会員 随時募集中！

hirohakamakodomokai@gmail.com

子ども会メルアド



吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00~12:00
午後 3:30~ 6:30
日・祭日/休診

町田市広袴 3-3-11

☎735-3487



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴 2-17-14
TEL 042(736)0959 FAX 042(736)0453

【広報部からのお知らせ】町内会に向けたご意見・ご要望・問合せなどありましたらお知らせください。

また、広報紙へ掲載を希望する記事、風景やペットの写真・イラスト・漫画等を募集しています。ご希望の方は広報部まで。info@hirohakama.org (紙面の都合上、全てを掲載することはできませんのでご了承ください)



広報部長

編集人

内田尚志
吉川市郎
白山修一
足立聡司

副部長

岩崎一朗
井川 啓
木内哲也
廣嶋淳一
原田 修
吉川和秀

サークル訪問

(英会話教室)

八月二十日(木)、英会話教室を訪問し取材をしてきました。当日は先生を含め六名の皆さんがレッスンをしていました。レッスンの流れは先週行動したことや見たり聞いたりしたことを一人ずつ英語で皆さんの前で話をするところから始まります。そしてその話の流れの中で先生を含め回りの皆さんから質問や反応が返ってきて会話が進んでいきます。もちろん会話は全て英語で行いますが、上手く表現できない時や、つまった時には先生から助け舟が入ってきます。(先生は日本語を完璧に理解している様子)途中休憩を入れてもらい皆さんにインタビューを行いました。

◆先生の経歴、教室への思い等◆

名前はクリスティーナ・アンナ(Christina Annan)です。出身はオーストラリア、30年前に弁護士をしていた父の仕事の関係で日本に家族と一緒に来ました。日本とオーストラリアは風土、文化、習慣がとても違い最初は戸惑いましたが、今は慣れて日本がとても好きです。日本人はとても親切でホスピタリティーが高いと思いますが、反面、非常にシャイで間違いを心配するので会話が上達しにくいところ



があるといます。私はレッスンを通じてその辺を直してどんな英語でコミュニケーションが出来るように手助けしたいと思っています。

◆生徒さんたちの声◆

●リタイヤ後、ボケ防止にと始めました。生活に密着した英語なので楽しく勉強しています。(熊田さん)

●英語には元々興味はありましたが、挫折の連続でした。クリスティーナと出会って2年余りになりましたが初めて継続できています。(梅田さん)

●スピードラーニング等の教材で勉強していましたが、三日坊主でやはり一人勉強は難しい。外国の人と少しでも会話が出来るようになりたいです。(齋藤さん)

●子育ても終わり時間もできたので勉強したいと思いました。一人よりもグループレッスンの方が楽しいと思いましたが。(田尻さん)

●主人の仕事の関係でバンクーバーに数年住んでいましたが、会話には苦労しました。帰国後、更に上達したいとの思いで始めました(岡田さん)。

現在、生徒募集中で私たちと楽しく英会話を学びましょうということでした。町内の皆さんぜひ一度、教室を覗いてみてはいかがでしょうか。(十二組 内田)



左から熊田さん、田尻さん、岡田さん、クリスティーナさん、梅田さん、齋藤さん

場所：広袴会館
曜日：第1、第3木曜日
時間：10:00~11:00
対象：大人(初心者レベル)
料金：¥2,000(2回)

042-734-5506(熊田まで)

広袴町内会、サークル等からのお知らせ

絵画教室

- 第1、第3
- 水曜日 1:30~
- 参加費
¥100/回



090-1217-3254 (大久保)

月曜喫茶

- 第4月曜 13:30~
- 健康維持体操
- 参加費100円/回

指を動かしながらお茶を飲みましょう!

042-735-0698 (堂口)



町トレ

- 水曜日 10:30~11:00
- 参加費 ¥50/回
- 042-737-0336(大久保)



広袴町内会には上記以外にも書道、麻雀、絵画教室、囲碁、ヨガ、詩吟、等たくさんのサークルがあります。このコーナーを通じて少しでもサークル活動の活性化にお役に立てるよう今後も紹介をしていく予定です。

(掲載の申込みは 広報部：内田、岩崎まで)

町内会HP



▽▽備蓄の勧め△△

いつ襲ってくるかわからない大災害、電気、ガス水道等のインフラが突然停止してしまつたら・・・。そんな時、私たちのライフラインの決め手となるのが家庭毎の備蓄です。（残念ながら広袴町内会には備蓄の機能はありません）備蓄というと「保管場所がない・・・」「賞味期限を切らせてしまいそう・・・」と、何か難しそうに感じますね。でも、今回はいつもの食料品を買い置きしておき、ムリなくムダなく簡単にできる備蓄方法「ローリングストック法」をご紹介します。

【ローリングストック法による備蓄とは】

- 一、普段使う食料品で、保存期間が長いものを、少し多めに買い置きする。
- 二、チェックリストを作成し、賞味期限をチェックしながら消費します。（一ヶ月に一回位）
- 三、消費した分だけ買い足して補充します。「食べる」↓「買い足す」を繰り返しながら常に一定食料品や飲料を備蓄できる方法です。ぜひ、今日からでも実践していただければ幸いです。（防災防犯部／広報部）



家庭での備蓄例 1週間分 大人2人の場合

● 必需品

・ 水 2L×6本×4箱

※1人1日おおよそ3L程度
(飲料水+調理用水)



好みのお茶や清涼飲料水などがあると便利

・ カセットコンロ 12本
・ カセットボンベ

※1人1週間おおよそ6本程度

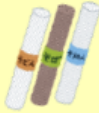


● 主食 (エネルギー及び炭水化物の確保)



・ 米 2kg×2袋

※1袋消費したら1袋買い足す
(1食ひとり75g程度)



・ 乾麺 (うどん・そば・そうめん・ Pasta)
そうめん2袋 (300g/袋)
Pasta2袋 (600g/袋)



・ カップ麺類

6個



・ パックご飯

6個

・ その他 (シリアルなど)



適宜

● 主菜 (タンパク質の確保)



・ レトルト食品

牛丼の素、カレー等18個
パスタソース6個



・ 缶詰 (肉・魚)

お好みのもの18缶

チョコレートやビスケットなどの菓子類も大事



● 副菜・その他 適宜



・ 日持ちする野菜類 (たまねぎ、じゃがいも等)

・ 梅干し、のり、乾燥わかめ等



・ 野菜ジュース、果汁ジュース等



・ インスタント味噌汁や即席スープ



・ 塩、砂糖、しょうゆ、めんつゆ等の調味料

広袴おりおり

第24回

ムクドリの大群



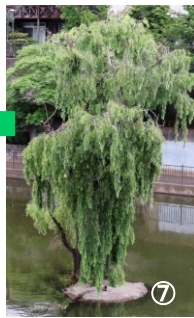
一年中どこでもよく見掛ける鳥の中にムクドリがいる。ハトとスズメの中間位の大きさで、似た大きさのヒヨドリやツグミと異なり嘴と脚が黄色い。また、渡りのような長距離飛行をしない為、尾羽が短い。広袴池の手摺りに留まっている写真①にはそれらの特徴がよく現れている。大抵は大小様々の規模の群れで行動しており、雑食で、樹木の実を啄み、畑や草地の地中などにいる虫を採食している。



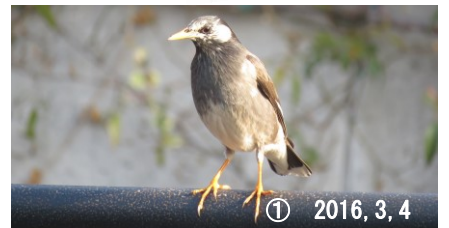
⑥ 2014, 9, 10 17:22 鶴川駅マルエツ正面街路樹



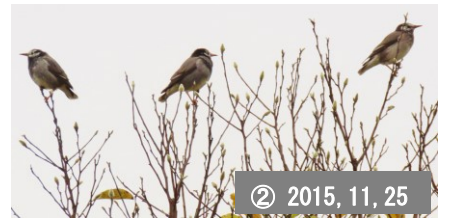
⑧ 2017, 6, 9 広袴池シダレヤナギ上方



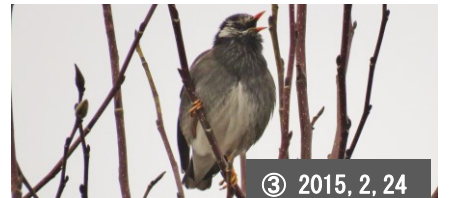
⑦



① 2016, 3, 4



② 2015, 11, 25



③ 2015, 2, 24



④ 2015, 6, 16



⑤ 2015, 5, 22

②は真光寺川沿いの木に群れで留まっている様子。③のようにほぼ垂直に近い細枝にも器用に掴まる。④は真光寺川沿いの田の土手において群れで採食している様子。⑤は地中から餌を捕獲したところ。農村では害虫駆除をしてくれる益鳥と捉えられている。

観察していると、どの群れでも一羽一羽が絶えず群れの中心から自分を結んだ延長上に注意を向けていて、全方位に天敵への警戒を怠らないようにしていることが分かる。

繁殖期を過ぎる頃、ムクドリは夕方になると四方から集まり、時には千単位、万単位の大規模な群れを作って塹の樹々に集まる。その際、天敵を避けやすい為か駅前ロータリーの樹木や繁華街の並木などが利用されることが多く、市街地では糞害や鳴き声による騒音問題が生じてきた。

鶴川駅前でも、わざわざ人通りの非常に多いマルエツ正面の街路樹に幾百か幾千のムクドリが集まって塹にしている。一斉に鳴く声は凄まじい騒音だが、辺りが暗い上に葉が繁っている為、地面からはよく観えない。マルエツの三階の駐車場から撮影した写真が⑥である。画像後方に鶴川駅ホームの緑色の屋根が見える。糞害や騒音の抑止の為に枝をほとんど切り落とすなどの対策がされてきたが、葉が繁茂する度にやってきて、イタチごっこが続いているようだ。

かつて広袴池のシダレヤナギに大群が押し寄せ、異様なほど鳴き騒いでいるのを観た(⑦と⑧)。朝早くの一過的なことだったが、少数ではひ弱にも見えるムクドリの大群になった際のパワーをまざまざと見せつけられた。

人込みに幾百の声降り注ぐ駅前の樹に群れるムクドリ (16組 篠田泰蔵)

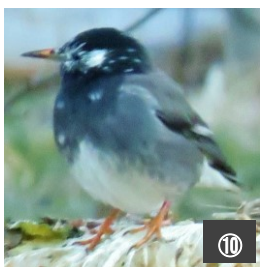


余話

ムクドリには若鳥同士が集まって群れる習性がある。かつて真光寺川最上流の北側緑地でその若鳥だけの群れを観た。⑨、⑩はその一部である。ふつくらとし、真冬なので灰褐色をした毛並みが美しい。尾羽がとて短いので、色や形と言いつつ、風貌と言いつつ、まるでペンギンを彷彿とさせていた。



⑨ 2015, 1, 13



⑩